

# 一 般 質 問 通 告 事 項

(令和5年第4回白岡市議会定例会)

第1通告者

6番 野々口 眞由美 議員

## 1 学校の教育活動について

(1) 一人一台のタブレット端末が導入され3年が経過した。そこで、  
端末導入後の学習状況等について伺う。

ア 端末を使っの学習状況について

イ 目的外使用など利用上のトラブルについて

ウ 長期休暇を含めた子ども達の宿題について

エ 生成A Iの取扱いについて

オ 教員の仕事はどのように変わったのか。

カ I C T支援員の配置人数と仕事内容について

キ 端末の故障、破損等の状況と予算について

(2) 学校の校則について

ア 校則の目的と現状について

イ 熱中症対策について

(3) 中学生の自転車通学について

(4) 学校で飼育している動物について

ア 飼育する目的はなにか。

イ 飼育している動物の種類と飼育の現状、問題点はなにか。

ウ 学校での動物飼育は必要か。

## 2 高齢者の移動手段の確保について

(1) 今後さらに大きな問題になってくる高齢者の移動問題について伺  
う。

ア のりあい交通の現状と課題について

イ 75歳以上の方にタクシーチケットの助成制度導入を求めるが、  
いかがか。

1 人口問題

- (1) 市の総合振興計画では、2031年の目標人口は52,000人となっている。しかし、確実に人口は減少していく。人口減少対策をどう考えているのか。
- (2) 首都圏40kmに適した用途、例えばデータのバックアップ施設など都市活性化施策はいかがか。
- (3) 市内で働く外国人研修生との共生施策はないのか。

2 大山小学校の卒業生について

- (1) 小規模校で育ち、学ぶことによる影響に関する知見はないのか。
- (2) 大山小学校での経験から得たものは何か。

3 文化について

- (1) 近現代の出来事、コロナ関連など成果を早めにまとめる必要があるのではないか。
- (2) 白岡市文化財保存活用地域計画をはじめ文化財は昔のモノのストーリーを考える傾向があり、生身の市民が登場するストーリーはあまり考えないのか。

1 マンション管理適正化推進計画と管理計画認定制度について

- (1) 市内のマンションの棟数、住戸数及び全世帯のうちマンションに居住している世帯の割合を伺う。
- (2) マンション管理適正化推進計画の作成及び管理計画認定制度を行う予定はあるか伺う。  
ア いつまでに作成及び開始する予定か。  
イ 独自基準を設けるか。
- (3) マンション長寿命化促進税制の対象である築20年以上かつ10戸以上のマンションは市内に何棟あるか。
- (4) 固定資産税が1/3減額された場合のおおよその減額金額はどれ

くらいか。

- (5) 管理計画に認定を受けることが条件の市独自の補助制度はあるか。  
また、検討中の制度はあるか伺う。

## 2 学校体育施設のAED屋外設置について

- (1) 市内小学校等の学校体育施設の利用時に校舎内に設置のAEDを使用する場合の方法について伺う。
- (2) AED使用後の連絡対応や費用負担について、現行の規定ではどのようにになっているか。
- (3) 学校体育施設のAEDを屋外に設置することはできないか。

## 第4 通告者

5 番 和 賀 正 義 議 員

### 1 消防団の充実について

消防団は、いつ発生するかわからない火災に対処する大変重要な存在である。市民及び団員の安全を守るために、消防団が円滑に機能するよう見直しを図るべきと考え、以下を伺う。

- (1) 過去5年間の火災件数
- (2) 消防団の出動回数と人員
- (3) 消防団の現状の人員体制とその問題点
- (4) 団員募集などの周知はどのように行われているのか。
- (5) 白岡駅西口近くの第7分団の移転はどこまで進んでいるのか。また、火の見やぐらは今後どうするのか。
- (6) 日々の分団の運営についてマニュアルを作成し、分団に配布してみてはいかがか。

### 2 イベントの安全対策（AEDの貸出）の周知について

- (1) 貸出AEDの利用状況について
- (2) たくさんの人が集まるイベントや祭り、スポーツ団体などへ、AEDの貸出の周知をもっと提案してみてはいかがか。

### 3 高齢者が暮らしやすい街づくりの実現に向けて

- (1) 白岡駅西口の市役所連絡所に高齢介護課窓口の設置を検討しては

いかがか。

- (2) 高齢介護課には、年間どのような人がどれくらい訪れるのか。
- (3) デジタル化・DX化に対応できない高齢者や市役所に来られない高齢者などに対し、市はどのように相談を受け介護サービスを提供していくのか。

## 第5 通告者

3 番 細 井 藤 夫 議員

### 1 投票率の発表方法の改善を

- (1) 当日の投票率公表時に期日前投票者の投票率を併記して公表してはいかがか。
- (2) SNSや防災行政無線をもっと活用して、投票の呼びかけをすべきでは。
- (3) 未来の投票率向上のために「お子さま連れで投票に行く」ことをもう少し推進できないか。

### 2 深夜急行バスの運行再開の要望を

新型コロナウイルス感染拡大後の2020年春から運行が休止されている国際興業バスの深夜急行バスについて、沿線自治体と協議して、運行再開を要望してはどうか。

### 3 白岡市商工会の開発商品・認定商品の再展開を

- (1) 「商工会開発商品・認定商品」について、白岡駅及び新白岡駅の付近で販路を確保すべきだが、市として取り組んではいかがか。
- (2) 「白岡アソート」として化粧箱に詰めるなどして、多客期に白岡駅で販売促進の取組をしてはどうか。
- (3) 全体の種類を増加させることで、市内の商業者の売上げ増加にもつながる。市としても取り組んではどうか。

### 4 マイナンバーカードの健康保険証機能の確実な運用を

- (1) マイナンバーカードの諸問題発覚後における本市の返納件数は。
- (2) 自主返納希望者の意思は尊重すべきだが、どうか。
- (3) 医療機関でマイナンバーカード読取機の不具合が生じた際の対応方法は。

- (4) 2026年に予定される「新マイナンバーカード」では現行機器が使用できなくなる可能性がある。新マイナンバーカード対応機器の導入について、今後の動向を注視すべきでは。

## 第6 通告者

9 番 齋 藤 信 治 議員

### 1 ゼロカーボンシティ宣言を踏まえて

6月1日にゼロカーボンシティ宣言を出した。宣言を出すことはゴールではなく決意表明である。市の決意を確認する。

- (1) 宣言前までの施策と効果は検証できているか。宣言後の施策に反映しているか。
- (2) 地域脱炭素移行・再エネ推進事業計画（重点対策加速化事業）の内容では、範囲が限定的ではないか。
- (3) 具体的な計画（公的施設の太陽光パネルについて）
- ア こもれびの森の発電量は使用量に比して少ないのではないか。
  - イ はびすしらおかの太陽光設備は停止している。復活させないか。
  - ウ 支障のない限り公的施設には太陽光パネルを設置すべきでは。
  - エ 2030年までに8基にする計画だが、対象は決まっているか。

### (4) エネルギーの地産地消を実現したら

地域新電力を立ち上げ市内で消費する電力は市内で発電する体制を作らないか。

### 2 ごみを資源に

私たちは、毎日ごみと対峙している。ごみを減らすことはCO<sub>2</sub>を減らすことにつながり、地球温暖化対策となる。ごみを資源化できないか。

- (1) 生ごみを資源化（堆肥や発電など）できないか。
- (2) プラスチックゴミをリサイクルするための収集はできないか。
- (3) 焼却炉の排熱利用はできないか。

### 3 農業に支援を

市内には農地があふれている。しかし、耕作されずにいる農地が多数あり、農作業は、高齢者が担っている。安定した食を維持するため

に農業の未来のために何ができるか伺う。

- (1) 農業法人の現状はどうなっているか。
- (2) 耕作放棄地解消のための支援はあるか。
- (3) 安心安全な食の生産を守るローカルフード法案がある。この法案の提案する地産地消を進められないか。
- (4) 農業経営安定化のためと同時に地球温暖化に抗するためにソーラーシェアリングを推進しないか。

## 第7 通告者

7 番 石 渡 征 浩 議員

### 1 しらおか味彩センターの活性化について

- (1) しらおか味彩センターの課題をどう捉えているか。  
また、その解決策は。
- (2) しらおか味彩センターでコストコフェアを定期的で開催したらどうか。

### 2 令和6年度一般会計予算編成方針について

- (1) 令和6年度の歳入予算について、その見通し及び根拠を伺う。
- (2) 歳出予算の編成に当たり、あらかじめ予算総額を設定するのか。  
個々の事務事業予算の積み上げなのか。その両方なのか。
- (3) 歳出予算の編成に当たり、あらかじめ各部・各課に示す基本的な方針について、以下3点を問う。

ア 全体を貫く方針

イ 第6次総合振興計画の重点取組項目の扱い及び強化する分野・施策

ウ 廃止・縮小する事務事業の基準及び個々の事務事業における予算編成時の考慮点、また、前年との違いについても伺う。

- (4) 新規事業及び大幅な増額・減額事業、〇〇計画策定事業については、予算案を12月議会で説明すべきと考えるが、見解を伺う。

### 3 側溝への蓋がけ予算の劇的増大を

- (1) 未対応の案件数と総延長及びそれに係る費用は、どのくらいか。
- (2) 予算の劇的な増大が必要ではないか。

- (3) 予算案を12月議会で説明すべきと考えるが、見解を伺う。

第8通告者

16番 黒 須 大 一 郎 議 員

1 公共施設統合再編実施計画は

(1) 本計画の進捗状況

ア その計画の進め方における学校施設等について。

イ 学校以外の公共施設について。

(2) 策定の目途はたったのか。

ア 公共施設統合再編実施計画の骨太の方針は。

イ 削減だけが本実行計画なのか。

ウ 統合化集約化転用等を考えると改修新設も必要では。

2 学校再編基本計画の策定を

(1) 学校の統合再編は、大山小学校だけの問題か。

(2) 市内小中学校再編基本計画の策定を。

\* 公共施設統合再編実施計画の骨太の方針が学校再編基本計画の策定にあたり肝心と考えるが。

3 ケアラーの将来は

(1) ヤングケアラーに関する実態調査の報告を経て、今後はどうなるのか。

\* 調査報告を踏まえケアラーを支援する側への調査をするなど。

(2) 関係機関の連携強化をどう図るのか。

(3) ケアラー経験者が救われたと思える関係機関等の新たな体制づくりをしていくべきでは。

第9通告者

10番 加 藤 一 生 議 員

1 市職員の労働環境と新規職員の採用状況は。

市の職員の労働環境はどうか。そして、来年度の新規職員の採用方針はどうなっているか。

2 工業団地と駅等とを結ぶ公共交通の新設はどう考えているか。

工業団地内の各企業において、運転手等の不足等により、送迎車輛

の削減が発生している。市として、公共交通を新設して利便性向上が考えられるが、市はどのような考えをしているのか。

第10 通告者

13番 菱 沼 あゆ美 議員

1 防災情報について

- (1) 6月に公表された「防災アセスメント・地区別防災カルテ」は、今後どのように活用していくのか。
- (2) スマートフォンなどで防災情報を受け取る防災アプリは、多くの情報をまとめられることから、大変役立つと考える。白岡版防災アプリを始めてはいかがか。

2 地域の共助・近助の力を高めることについて

- (1) 独居の高齢者の現状と今後の傾向を伺う。
- (2) 地域などの居場所づくりが重要と考える。その推進について調査や協議をしている「ささえあいミーティング」と生活支援コーディネーターの活動状況を伺う。
- (3) 例えば、行政区に一つ以上のサロンなどの立ち上げを目指して、担い手やボランティアの育成をやってはどうか。地域の高齢者が必要とされる仕組みづくりとしても、取り組んでいけないか。

3 文書発信の工夫について

- (1) 就学援助制度の最近の利用状況と傾向を伺う。
- (2) 利用申請書類は、入学時全員に配布されているが、それ以降の進級時ごとに全児童・生徒に配布して、申請の機会を増やすべきではないか。
- (3) 市役所から市民に届く文書には、お役所言葉が使用され、分かりにくい。誰でも分かりやすい文書にするよう見直しや工夫をすることで、申請や納付漏れを防いではどうか。
- (4) 特に視覚障がい者に届くものには、音声コードを付けて、内容を受け取りやすくしてはどうか。



1 消防団による地域防災力の強化について

(1) 消防団員の火災出動により発生する費用について

火災対応により発生する費用弁償等について伺う。団員に対して発生する費用弁償と手当の種類と金額、火災1件当たりに発生するそれら費用の総額はいくらか。

(2) 火災発生時における白岡消防署から各消防分団への連絡体制・出動体制について

火災発生時の各消防分団への連絡・出動体制はどのようになっているのか。また、出動に関するマニュアルの整備状況、団員への周知状況について伺う。

(3) 大規模自然災害を想定した訓練の実施について

消防団の活動は、「消火活動やその後方支援活動、地震や風水害等の大規模災害時の住民の避難誘導や警戒巡回などの役割を担う」とされる。そこで、それらの災害を想定した訓練の実施状況について伺う。

ア 消防団へのアンケート調査の結果を受け、「消防操法の在り方や模擬火災訓練の実施などについて検討する」と回答があった。その後の訓練等の実施方法についての変化は。

イ 形式的な訓練等の業務負担を減らし、地震や風水害などに対するより実践的な訓練の実施と装備の充実が必要であると考え。市としてはどのような考えがあるか。

(4) 消防分団と地域防災組織との連携について

大規模災害発生時において、行政による公助には時間を要することが想定され、特に発生直後においては自らの自助・地域による共助が重要となる。災害発生時、市と地域防災組織等による避難所の開設と運営が行われるが、避難所・地域自主防災組織と消防分団との連携についてはどのように考えているか。

第12通告者

4番 浜口清志 議員

1 地域公共交通について

(1) のりあい交通運行実績をどのように評価し、捉えているか。

ア 本格運行8年目の実績

イ 登録者、利用者数の変化

ウ 登録者、利用者の属性

エ 曜日・運行便ごとの利用の特徴

(2) 公共交通先進事例の鴻巣市はコミュニティバスとのりあい交通を併用しているが、採用する考えはあるか。

(3) 地域公共交通会議・地域公共交通確保維持改善協議会に市民の声をより一層反映させるために懇談会等を立ち上げて検討する考えはあるのか。

2 テニスコートの管理について

(1) 使用状況（過去3年間の利用者数）を把握しているか。

ア 総合運動公園コート R4年度、R3年度、R2年度

イ 市民テニスコート R4年度、R3年度、R2年度

(2) 市民テニスコートの現状を把握しているか。

(3) 市民テニスコートの改修計画を考えているか。

第13通告者

15番 中川幸廣 議員

1 小・中学校にアントレプレナーシップ教育の導入を図ってはどうか伺う。

市内の商店街の活性化の手法として、小・中学生の時から起業家教育を施すアントレプレナーシップ教育を導入してはどうかと考える。

具体的には、スーパーなどの大型店にない特性を生かした店舗の存在性や起業に対するおもしろさを教育し、次世代の後継者の育成に役立ててはいかかがか。

第14通告者

11番 松本栄一 議員

1 地域クラブ活動の現状と高校入試は

地域クラブ活動は、2021年度に県内で最初のモデル事業としてスタート、2022年度は、スポーツデータバンク㈱に事業を委託し、同年暮れには、シンポジウムを開催し、現在は全国からの視察が多数ある。

- (1) 今年度の実施種目、種目別の参加人数及び指導者数（スポーツデータバンク㈱、地区指導者、部活の顧問教諭別に）、種目別の参加費用は。
- (2) 平日の部活動で、地域クラブ活動種目以外に休日の部活動はあるか。また、各中学校の地域クラブ活動に参加していない部活動数と部員数は。また、各中学校の部活動及び地域クラブ活動に参加していない生徒数は。
- (3) 県中学校体育連盟では、10競技についてクラブチームの参加を認定したが、当市及び県大会への埼玉葛地区予選会において、該当する団体、生徒の参加があったか。
- (4) 埼玉県は、部活動の実績を全ての県立高校入試の調査書に加点項目としているが、地域クラブ活動に参加している生徒と参加していない生徒で、差はないのか。また、県高校教育指導課の方針は示されているのか。

## 2 自転車利用者の安全対策

道路交通法の一部改正により、本年4月から自転車利用者のヘルメット着用が努力義務化された。

- (1) まだヘルメットを着用していない方が多いが、市民への周知をどうするのか。
- (2) 県内では、6月13日現在だが、ふじみ野市や坂戸市、八潮市等、9市町でヘルメット購入費の補助事業を実施している。当市も安全対策の一環として実施できないか。
- (3) 八幡神社から白岡駅西口への都市計画道路の整備も進んでいるが、完成後には自転車で通学・通勤する方も増えることが予想される。当市では、まだ自転車専用レーンを設けた道路はないが、自転車を利用する方への安全対策として設置できないか。また、設置可能な

道路は限定されるが、ほかの都市計画道路では設置が可能であるか。

第15 通告者

12番 中山 廣子 議員

1 学校図書館について

- (1) 小中学校の図書館の利用状況を伺う。
- (2) 学校図書館に携わっている方は司書を含めどのような方なのか。またその活動状況を伺う。
- (3) 市立図書館との連携について伺う。
- (4) 今年、新聞に「古い学校図書、更新進まず。廃棄勧めていない25%」という記事が掲載されていた。本市の図書標準の達成率などの状況を伺う。
- (5) 第6次「学校図書館図書整備等5か年計画」に基づき、学校図書館図書標準の100%達成、計画的な図書の更新、新聞の複数紙配備、学校司書の配備拡充を進めるべきと思うが、見解を伺う。

2 熱中症対策の推進について

- (1) 熱中症から市民の命を守るために、暑さ指数（WBGT：Wet Bulb Globe Temperature）の認知度を向上させることや、行動変容につながる発信が必要と考えるが、本市の取組を伺う。
- (2) 高齢者の熱中症に対する予防への意識を高めるために地域包括支援センターや担当課が連携して行っている取組について伺う。
- (3) 「まちのオアシス」をもっと市民に分かりやすく、誰でも利用できるものだと一目でわかるように周知することが必要かと思うが、いかがか。

3 安全な道路整備について

- (1) 現在の市内の道路植栽の管理についてどのように行っているか伺う。
- (2) 市内で交通事故の原因となりそうな道路植栽の箇所はどれくらいあり、その数や場所を把握しているか伺う。
- (3) 市道126号線のヤオコー新白岡店の横の道路で坂の一番高いと

ころに植栽があり、駐車場から出て右折をする時に右側から来る車が見えにくくなっている。カーブミラーが設置されているが、かなり前に出ないと目視ができないとの苦情がある。また、市道127号線の白岡高校横の歩道が狭く、人がすれ違う時や、ベビーカーを押して通る際に道端に待機しなくてはならない。さらに、この道路は高校生の通学路でもあり、高校は指定避難所にもなっていることから、その歩道をルネ・グランガーデン前の道幅と同じように拡充してほしいという声もあるが、市としてどのように考えているか見解を伺う。

#### 第16通告者

8番 中村匡志 議員

- 1 今般の干ばつの市内農業への影響について
  - (1) 現状及びその把握について。
  - (2) 対策について。
- 2 民間事業者の開発による団地の道路について（その2）
  - (1) 公道化の不均衡はなぜ生じたのか。
  - (2) 公道化の不均衡をどのように解消するのか。
- 3 市内の救急医療体制について
  - (1) キャパシティについて。
  - (2) 改善の見込みはあるのか。
  - (3) 費用対効果について。
- 4 公教育における歴史教育について
  - (1) 美術科における歴史教育について。
  - (2) 音楽科における歴史教育について。
  - (3) 社会科における歴史教育について。
  - (4) 家庭科における歴史教育について。
  - (5) 体育科における歴史教育について。
  - (6) 数学科における歴史教育について。
  - (7) 国語科における歴史教育について。
  - (8) 英語科における歴史教育について。

5 公教育における外国語教育について（その2）

- (1) 発音の教育について。
- (2) 発音記号の教育について。
- (3) 語彙数について。
- (4) 英語以外の外国語について。
- (5) 英語科教員の研修について。

6 マイナンバーカードに対する市民の不安の解消について

- (1) 窓口対応の強化について。
- (2) 広報しらおかの活用について。

7 「市長への手紙」について

- (1) 親展とされた「市長への手紙」にはどのように対応しているのか。  
「親展では送らないでいただきたい」と周知すべきではないか。
- (2) 市長は全ての「市長への手紙」に目を通してしているのか。